

令和3年7月6日

四街道市生涯学習推進計画（第3次）の進捗状況調査報告書（令和2年度実績）

標記の件につきまして、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 調査内容 本計画における令和2年度の実績
2. 調査対象 各課が所管する事業から全90項目を対象（カッコ内は課毎の項目数）  
 （危機管理室（2）、政策推進課（10）、自治振興課（6）、  
 社会福祉課（11）、高齢者支援課（2）、障害者支援課（5）、  
 健康増進課（3）、子育て支援課（2）、保育課（4）、  
 環境政策課（1）、廃棄物対策課（1）、産業振興課（5）、  
 都市計画課（1）、教育総務課（1）、社会教育課（26）、  
 スポーツ青少年課（7）、図書館（3）

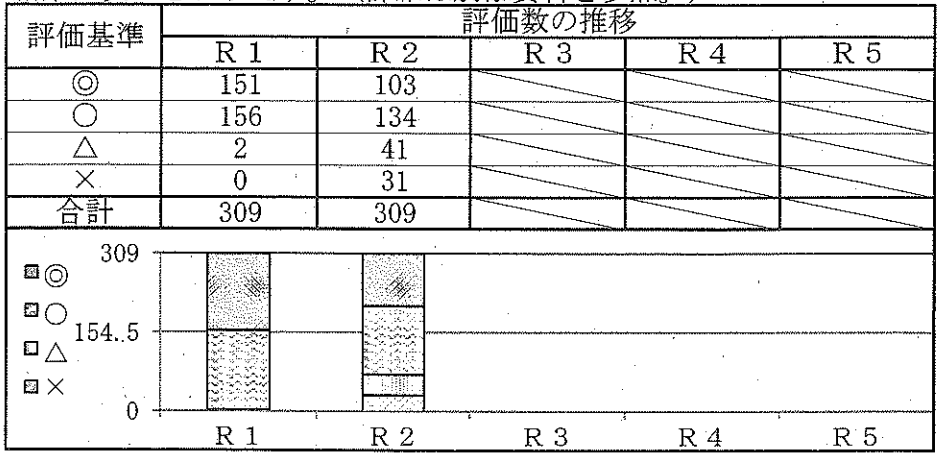
これらの事業毎に「生涯学習推進のための視点」（下記の5項目）から該当する視点について評価を行いました。

生涯学習推進のための視点	
①	現役世代の生涯学習に対する配慮
②	高齢者の力を活かす
③	持続可能な学習形態の推進
④	障害者の多様な学習活動の推進
⑤	家庭教育支援体制の充実

3. 調査方法 各事業の所管課の自己評価による。

評価基準	
◎	十分に取り組むことができた（9割以上）
○	概ね取り組むことができた（6～8割程度）
△	あまり取り組むことができなかった。（5割以下）
×	殆ど取り組むことができなかった

4. 調査結果 結果は次のとおりです。（詳細は別添資料を参照。）



また、進捗率（◎=100%、○=70%、△=30%、×=0%を係数として、評価数に乘算して算出）は次のとおりです。

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
進捗率%	84.4	67.7			

5. 総合評価 前年と比較し、◎は48の減、○は22の減、△は39の増、×は31の増となり、進捗率は、16.7ポイントの減となりました。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業の縮小や中止が相次いだことによる影響があったものと考えられます。

四街道市生涯学習推進計画(第3次)令和2年度実施状況について

【基本方針と主要施策】			
1. 学びの基礎づくり	3. 学びが広がる地域づくり		
1-1 家庭教育・子育て支援	3-1 地域教育力の向上		
1-2 健康づくり	3-2 市民参画・協働の推進		
2. 学びのきっかけづくり	3-3 人材育成・活用の推進		
2-1 学習情報の発信	3-4 啓発活動の推進		
2-2 学習ニーズへの対応	4. 学びを支えるまちづくり		
2-3 ICT活用能力の育成	4-1 互いを高め合うコミュニティ活動の推進		
2-4 相談体制の充実	4-2 生涯学習関連施設の確保・整備		

【生涯学習推進のための視点】
① 現役世代の生涯学習に対する配慮
② 高齢者の力を活かす
③ 持続可能な学習形態の推進
④ 障害者の多様な学習活動の推進
⑤ 家庭教育支援体制の充実

【実施評価】
◎:十分に取組むことができた(9割以上)
○:概ね取組むことができた(6~8割程度)
△:あまり取組むことができなかった(5割以下)
×:殆ど取組むことができなかった
or 当初より中止が決定していたもしくは協議等なく中止を決定した

事業毎の予算額・決算額は、別紙を参照。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
1	1	1	保育課	中央保育所保育運営事業	地域における子育て支援と交流の場を提供します。	③	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	子育て支援センターは土曜日も開所しているほか、来所が困難な方のために公園や公民館において出前事業を実施しているが、2年度はコロナの影響で4・5月は開所、6月以降も人数を制限して実施した。また、講師を招いて開催する子育て講座のうち、幼児安全法講習会は例年土曜日に実施しているが、講師側の申し出により実施しなかった。 実績:出前事業5回(参加者222人) 幼児安全法講習会0回	継続	2年度は新型コロナウイルスの影響で施設の閉所や事業の中止があった。次年度も影響が予測されるが、十分な感染予防対策を講じたうえで、引き続き子育て支援センター事業を実施し、市民の生涯学習活動を支援していく。
							b 参加対象者に広く周知できた。	○			
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○			
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	子育て支援センターでは、通常の開所日に加え、イベントや子育て講座の実施日にも乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供しているが、2年度はコロナの影響で4・5月は開所、6月以降も人数を制限して実施した。 実績:245日開所 利用者総数2,610組5,635人		
							a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○	子育て支援センターでは、通常の開所日に加え、子育て講座の実施日にも子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業を行っているが、2年度はコロナの影響で4・5月は開所、6月以降も人数を制限して実施した。 実績:245日開所 利用者総数2,610組5,635人		
						c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○				
2	1	1	保育課	千代田保育所保育運営事業	地域における子育て支援と交流の場を提供します。	③	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	子育て中の方が子どもと共に参加し、保育士の保育や他の子どもの様子を見るなどして、自然に学べる機会を持てるよう配慮した。また、利用時間を延長することで、参加者増加につながるようにした。 実績:子育てひろば年27回 利用者数243名	継続	次年度も地域の感染拡大の状況を注視し、開催の有無の判断を行う。開催する場合は、大人のマスク着用、検温・手指消毒等感染防止策を講じる。
							b 参加対象者に広く周知できた。	○			
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○			
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	同じ地域の年齢の近い子どもを育てる保護者同士が出会い、交流するきっかけになる場を提供した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から6月および1月から3月の間休止した。 実績:子育てひろば年27回 利用者数243名		
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	利用者に子育ての悩みがある場合には、利用者同士または保育士との関わりの中で、自然に相談することができる場を提供した。 実績:子育てひろば年27回 利用者数243名		
3	1	1	健康増進課	母子保健事業	妊娠中から夫婦で子育てに関する知識や技術を習得できる場を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎	妊婦とそのパートナーが、妊娠中の健康、子どもを迎える準備と夫婦共同での子育てについて学べる教室を開催した。 実績:パパママルーム 実施回数14回 延参加人数215人	継続	次年度も引き続き妊娠中から夫婦で子育てに関する知識や技術を習得できる場を提供し、支援していく。
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎			

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
4	1	1	産業振興課	農産物生産等支援育成事業	親子で食物について考える機会を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○	市民親子農業収穫体験講座を実施し、親子で食物についてともに学ぶ機会を提供できた。 実績：講座回数6回 延参加者組・人数80組163人	継続	次年度も引き続き市民親子農業収穫体験講座を実施し、親子で食物についてともに学ぶ機会を提供・支援する。
5	1	1	社会教育課	子育て学習事業	家庭・学校・地域の連携で、家庭教育を推進します。	① ② ③ ⑤	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。	◎ ○	就学時健康診断時及び中学校入学説明会時に、家庭教育の重要性に関する子育て学習講座を開催できた。 実績：市内全小中学校17校(うち7校は書面開催)	継続	次年度も引き続き、子育て学習講座及び地域・家庭教育学級を実施し、家庭教育を支援していく。
							a 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。 c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	◎ ◎	子育て学習講座の講師として退職した校長先生等に依頼をし、実体験を交えた講座が開催できた。		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	子育て学習講座については、講師により自己紹介やグループワークの時間をとることにより、座学だけでなく交流の場とすることができた。また、地域・家庭教育学級については、PTA等に対し周知を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため団体の活動自粛等があり利用希望者はいなかった。		
							a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎	就学時健康診断時及び中学校入学説明会時に、家庭教育の重要性に関する子育て学習講座を開催できた。 実績：市内全小中学校17校(うち7校は書面開催)		
6	1	1	図書館	読書学習推進事業	子どもたちが読書に親しむ機会を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。 b 家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎ ○ ◎	乳幼児期から本に親しむため、読み聞かせ等の実践、年代別資料案内しおり、展示活動、講座開催により、多様な資料を紹介し、本と出会う機会の増進に努めた。 実績：児童対象事業数6件(延参加者数18人) 一般対象事業数0件(延参加者数0人)	継続	次年度も引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた事業運営を行う。
7	1	2	高齢者支援課	一般介護予防事業	介護予防を目的とした講習会を開催します。	③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、介護予防に関する各種講座や講習会、教室は開催を見合わせた。パンフレットの配布や市政だよりへの掲載による普及啓発、地域の自主活動の場での健康教育を実施した。 実績：17会場 延参加者数204人	継続	次年度も引き続き感染拡大防止に配慮しながら、介護予防の普及啓発を実施する。
8	1	2	健康増進課	健康よっかいどう21プラン推進事業	健康よっかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業を実施します。	① ⑤	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ○ ○	第2次健康よっかいどう21プランに基づく運動教室等各種事業は、オンラインでの実施も含め、感染対策を行いながら実施した。プラン推進のための啓発として、市政だよりやホームページで健康情報の提供をした。今年度は県の健康ポイント事業と連携し、市のインセンティブ事業の充実を図った。	継続	次年度も引き続き感染症対策に留意しながら、健康よっかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業を実施していく。
							a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○ ○	2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、よい歯のコンクールは標語のみの実施となった。親子で参加する教室は、定員を半分に距離の確保、体調管理、換気等感染対策を徹底しながら実施し、家庭で健康づくりに取り組むきっかけとすることができた。		
9	1	2	健康増進課	成人保健事業	健康よっかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業を実施します。	① ⑤	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ◎ ○	市民の健康保持増進と疾病予防のため、糖尿病予防教室は定員を半分に距離の確保、体調管理、換気等感染対策を徹底しながら実施した。健診結果相談や7月以降の集団検診(健診)の他、2年度からは母子保健事業で健康教育の実施を行い、若い親世代への周知に努めた。	継続	次年度も引き続き感染症対策に留意しながら、市民の健康保持増進と疾病予防のため、各種健康教育・健康相談事業等を実施していく。
							a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○ ○	糖尿病予防教室や各種健康教育・健康相談事業に子育て世代の人が参加することで、本人だけではなく家族への波及効果がある様、内容を工夫している。		

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針										
10	1	2	社会教育課	公民館管理運営事業	健康づくりに関する学習の機会を提供します。		②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	△	当初は65歳以上の高齢者を対象とした講座(長寿大学、福寿大学、あさひ寿大学)を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。	継続	次年度も引き続きライフステージの各時期における健康に関する学習の機会を提供していく。									
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○				下記講座を開催することで、学習機会の提供だけでなく参加者同士の交流の場もできた。 実績:ゆるめる体操計4回 合計59人、やさしいエクササイズ計4回 合計87人、健康体操教室計5回 合計44人								
								b 学習成果を地域に還元できた。	○												
							⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	△	当初は育児等の学習を提供する機会として保護者を対象とした講座(2・3歳児ひよこ教室、2歳児子育て教室、幼児リトミック教室)を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。											
								c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	△												
							11	2	1	政策推進課			国際交流事業	国際交流協会の活動を市政だよりや市ホームページで取り上げ、広く周知します。		①	b 参加対象者に広く周知できた。	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。	継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況が収束するまでは、参加者の安全を確保するため、事業を実施しない予定だが、市政だよりや市ホームページにおいて過去の事業の様子を掲載することで市民に事業を広く周知する。
																c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×				
																③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。		
																	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	×			
12	2	1	政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	みんなで地域づくりセンター情報誌を発行します。						①						みんなで地域づくりセンターで年4回発行している情報誌「みんなで」において、市民団体が実施している生涯学習活動につながる取組みとみんなで地域づくりセンターで行っている講座を紹介した。	継続	次年度も引き続き情報誌を発行し、より多くの市民に生涯学習活動につながる取組みや、みんなで地域づくりセンターで実施している講座等を知らせていく。		
											d (読者である市民に、地域づくりに関する知識等を広めた)	○									
							③	b 学習成果を地域に還元できた。	○	情報誌「みんなで」の発行により、地域の人々が、地域づくりへの興味を持つきっかけづくりをした。											
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○												
13	2	1	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会の情報紙の発行を支援します。		②	a 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。	○	社会福祉協議会が実施する、多様な世代を対象とした講座等の開催案内、実施報告等が載った広報紙発行事業の一部に対して補助金を交付することで、運営支援を行った。 実績:社協だよりふくし四街道の発行年4回(4・7・10・1月) 40,350部/回	継続	次年度も引き続き社会福祉協議会の運営を支援することにより地域福祉の推進を行う。									
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○				社会福祉協議会が実施する、多様な世代を対象とした講座等の開催案内、実施報告等が載った広報紙発行事業の一部に対して補助金を交付することで、運営支援を行った。 実績:社協だよりふくし四街道の発行年4回(4・7・10・1月) 40,350部/回								

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針									
14	2	1	社会教育課	公民館管理運営事業	公民館だよりを発行します。		b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○	公民館のサークル活動や主催講座の情報を提供するため、公民館だよりを発行し、シルバー人材センターに公民館だよりの各戸依頼を委託した。 実績：年1回発行	継続	次年度も引き続き公民館だよりを発行し、公民館のサークル活動や主催講座の情報提供に努めていく。									
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	公民館だよりを発行し、公民館のサークル活動や主催講座を提供できた。											
							a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○	公民館だよりを発行し、子育て中の親子に有益なサークル活動や講座情報を提供した。											
15	2	1	社会教育課	生涯学習推進事業	・ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した生涯学習情報の提供をします。 ・生涯学習を推進するために、ガイドブックを発行します。		a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	市が行う各種事業や生涯学習関連施設・団体等の情報を載せた「まなびいガイドブック」を作成し、ホームページに掲載できた。	継続	次年度も引き続き生涯学習に関するガイドブックを作成、ホームページ上で掲載し、生涯学習情報を提供していく。									
							b 参加対象者に広く周知できた。	○												
							a 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。	○	まなびいガイドブックの中に高齢者の技能等を生かす事業やサークル等の内容を掲載しており、高齢者に対し情報提供できた。											
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎												
							c 学んだ成果を公表できる場を提供できた。	○												
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	まなびいガイドブックの中に生涯学習関連施設等の内容を掲載しており、学習・交流の場の情報提供ができた。											
							b 関係部署と連携し、参加者を募った。	◎	まなびいガイドブックの中に障害者も参加できるイベント等の情報を掲載できた。											
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	まなびいガイドブックに子育て支援センターによる相談の受付情報等を掲載できた。											
							16	2	2			政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	地域の課題を解決するための講座を実施します。		b 参加対象者に広く周知できた。	◎	みんなで地域づくりセンターにおいて、地域課題を解決するための講座等を実施した。 講座については、アンケートを実施し、参加者からの意見を伺った。 実績：講座等実施回数39回	継続	次年度も引き続きみんなで地域づくりセンターで講座を実施し、市民の学習の場を設ける。
																c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎			
a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	講座等を通し、受講者同士の交流の場が広がり、新たな人脈の醸成へとつなげた。																		
c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎																			

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための役割	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針		
17	2	2	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会と連携してボランティア活動者を増やすための講座やイベントを実施します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保に寄与した。 実績：ボランティア活動の支援 ボランティア登録80団体(1,620人)、個人(464人) ボランティア育成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	継続	次年度も引き続きボランティア活動の支援と連絡調整を担うボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の活動に対し支援していく。		
							b 学習成果を地域に還元できた。	○				ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、活動の支援を行った。 実績：ボランティア活動の支援 ボランティア登録80団体(1,620人)、個人(464人) ボランティア育成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	
18	2	2	社会教育課	公民館管理運営事業	市民が求めるニーズに沿った講座を実施します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	△	当初は65歳以上の高齢者を対象とした講座(長寿大学、福寿大学、あさひ寿大学)を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。	継続	次年度も引き続き主催講座の開設や公民館運営委員会を開催していく。		
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	△					
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				○	公民館運営委員会を開催し、市民による主体的な公民館活動を促進するとともに、参加者同士の交流の場ともできた。
								b 学習成果を地域に還元できた。				○	
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。				○	
							⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。				△	当初は育児等の学習を提供する機会として保護者を対象とした講座(2・3歳児ひよこ教室、2歳児子育て教室、幼児リトミック教室)を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。
c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	△												
19	2	2	社会教育課	文化財保護管理事業	文化財の調査・保護を行い、活用を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	「よもやま話」を市政だよりとHPに掲載し、利便性の高い学習機会を提供した。 実績：年2回掲載	継続	次年度は新型コロナウイルスの状況を注視しながら、例年の事業を行えるよう努めていく。		
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	△				「文化財ガイドボランティアの会」と共同で、成台中地区において文化財散歩を企画し、市民の知識を活かす場を提供する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大状況により中止した。	
							③						「よもやま話」の掲載、博物館等への資料貸出等の文化財活用をすすめることにより、学習者の意欲に応じて情報収集ができるよう努めた。
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。				○	
							20	2				2	社会教育課
③	b 学習成果を地域に還元できた。	○	市内の自治会が保有する文書や個人が所有する文書の史料調査を行い、後世に残せるようデジタル化や保存調査を行った。										

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針	
21	2	2	社会教育課	生涯学習推進事業	<p>・市政についての知識を深めるための生涯学習まちづくり出前講座を実施します。</p> <p>・学びたい市民と教えた市民をつなぐための生きがいつくりアシスト事業を実施します。</p>		a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	<p>生涯学習まちづくり出前講座については、担当課との調整により祝日・年末年始を除いた全ての日程で開催可能、生きがいつくりアシスト事業についても、講師との調整により日程を選べるようになっている。また、どちらも市政日より、ホームページ及びまなびいガイドブックにて広く周知を行った。</p> <p>なお、緊急事態宣言中は、出前講座を休止していた。</p>	継続	<p>次年度も引き続き生涯学習まちづくり出前講座及び生きがいつくりアシスト事業を実施し、市民の生涯学習活動を支援していく。</p>	
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎				
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎				<p>生きがいつくりアシスト事業においては、専門的な知識や技能を持った市民にボランティア講師として登録してもらっており、高齢者の活躍の場を提供できた。</p> <p>実績：登録講師38人</p>
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎				
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎				<p>生きがいつくりアシスト事業においては、事業の紹介を目的に複数の講師の協力のもと「一日体験講座」を実施した。市民と講師だけでなく、同じ内容に興味を持った受講生同士の交流にもつながった。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加人数を制限して実施した。</p> <p>実績：講座数7講座(当初9講座予定)、参加者37人</p>
c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎											
b 関係部署と連携し、参加者を募った。	○	<p>生涯学習まちづくり出前講座及び生きがいつくりアシスト事業ともに制限はあるものの障害の有無に関係なく事業を展開しているが、令和2年度は特筆すべき利用希望者はいなかった。</p>										
c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	<p>生涯学習まちづくり出前講座においては、担当課による子育てに関する講座や学校生活に関する講座を開催可能とした。</p>										
22	2	2	社会教育課	市民大学講座事業	<p>まちづくりの見識を深めるための市民大学講座を実施します。</p>		a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	<p>一般課程・専門課程ともに内容を精査することで、現役世代も参加しやすいようにした。</p> <p>また、ホームページ、公共施設でのチラシの設置等広く周知を行った。</p> <p>実績：一般課程9講座(うち3講座休講) 専門課程中止</p>	継続	<p>専門課程においては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。</p> <p>次年度も引き続き実施予定ではあるが、開催時期等を含め慎重に検討していく。</p>	
							b 参加対象者に広く周知できた。	○				
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎				<p>一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画・運営を行った。</p>
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎				
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎				<p>市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機となった。また、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす動機づけとなった。</p>
c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎											
b 関係部署と連携し、参加者を募った。	○	<p>一般課程・専門課程ともに制限はあるものの障害の有無に関係なく事業を展開しているが、特筆すべき利用希望者はいなかった。なお、会場にはエレベーターのある場所を選んでおり、車いす等の受講者へ対応できるようにしている。</p>										
c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	<p>一般課程においては、視覚障害者の理解を深められる講座を開催し、保護者等の安心につながる内容となった。</p>										

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針	
23	2	2	スポーツ青少年課	小中学校施設開放事業	小中学校施設の一部を開放し、文化・スポーツ活動の活性化を図ります。		①	b 参加対象者に広く周知できた。	◎	コロナ禍の続く情勢の中で感染症対策を講じた上で、身近な活動場所として市内小学校の校庭及び市内小中学校の体育館や特別教室を開放し、市ホームページや市政だよりを通じて周知を行うことで、市民が気軽に文化・スポーツに親しめる環境を整えた。	継続	次年度も引き続き感染症対策を講じた上で小中学校施設の開放を行い、生涯学習環境の整備と文化・スポーツ活動の活性化を図る。
							②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	コロナ禍の続く情勢の中で感染症対策を講じた上で、書道、ピアノレッスン、パウンドテニス、グラウンドゴルフなどの趣味・教養活動の場を提供できた。		
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	コロナ禍の続く情勢の中で感染症対策を講じた上で、社会教育活動や文化活動の場を提供できた。 実績：特別教室 和食比小学校8団体267人利用 四街道中学校4団体169人利用 スポーツ・レクリエーション活動の場を提供できた。 実績：小学校校庭開放40団体830人利用 小中学校体育館開放200団体2,835人利用		
24	2	2	スポーツ普及促進事業	スポーツを盛んにするための大会・イベント等を実施します。		①	b 参加対象者に広く周知できた。	×	各種スポーツ教室の開催にあたっては、市ホームページや市政だよりを通じて周知を行い、子どもたちにはさまざまなスポーツ体験の場を、成人にはスポーツ活動への参加の促進、健康づくりや仲間づくりの場の提供を予定していたが、コロナ禍における万全な感染症対策がとれず、やむなく中止とした。	継続	次年度も引き続きスポーツ活動の場を提供していくが、コロナ禍の続く情勢を踏まえ、「密」の回避等、感染症対策を講じた上で実施していく。	
						③	b 学習成果を地域に還元できた。	×	感染症の影響により各種イベントの開催を中止した。			
25	2	3	社会教育課	公民館管理運営事業	高等教育機関と連携し、高度な知識・技術の習得を目的とする講座を実施します。		①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	公民館主催講座で平日だけでなく土日開催の講座も企画することで、現役世代も参加しやすいよう配慮できた。	継続	次年度も引き続き情報活用能力の向上を図るための講座を実施していく。
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。	○			
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。 b 学習成果を地域に還元できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○ ○ ○	多様な講座を実施し、学習者同士の交流を促すことができた。		
							④	a ライフステージに合わせた学習を提供できた。	○	障害の有無に関係なく事業を展開しているが、特筆すべき受講者はいなかった。		
							⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○	オンライン講座を企画し、家庭に居ながら教育を受けることができる学習の場を提供できた。 実績：もっと楽しくインターネット1回 合計24人		



No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針												
26	2	3	社会教育課	市民大学講座事業	高等教育機関と連携し、高度な知識・技術の習得を目的とする講座を実施します。		①	c	学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎	一般課程・専門課程ともに大学教授や企業の社長等専門性の高い講師に講演をしてもらった。また、アンケートを実施し、希望講師へは結果をフィードバックしている。	継続	専門課程においては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。次年度も引き続き実施予定ではあるが、開催時期等を含め慎重に検討していく。										
								②	a	参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				◎	一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画・運営を行った。								
									b	趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。				◎									
							③	a	学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機となった。また、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす動機づけとなった。												
								c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎													
							④	b	関係部署と連携し、参加者を募った。	○	一般課程・専門課程ともに制限はあるものの障害の有無に関係なく事業を展開しているが、特筆すべき利用希望者はいなかった。なお、会場にはエレベーターのある場所を選んでおり、車いす等の受講者へ対応できるようにしている。												
								⑤	c	保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○			一般課程においては、市内の教育機関との連携により視覚障害者の理解を深められる講座を開催し、保護者等の安心につながる内容となった。									
							①		a	学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎			みんなで地域づくりセンターにおいて、地域づくりに関する市民からの相談を随時受け付けた。実績：相談件数47件	継続	次年度も引き続きみんなで地域づくりセンターにおいて市民活動等を行う市民からの相談を受け付ける。							
									③	b	学習成果を地域に還元できた。						◎	みんなで地域づくりセンターにおいて、地域づくりに関する市民からの相談を随時受け付けた。実績：相談件数47件					
							c	地域に学習成果を活かす動機づけができた。		◎													
							②	a	参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保に寄与した。実績：コーディネーターによる相談・援助(常設) ボランティア相談日「ボランティアやったるDAY！」の実施年4回			継続			今後も引き続きボランティア活動の支援と連絡調整を担うボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の活動に対し支援していく。						
								③	b	学習成果を地域に還元できた。	○							ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、活動の支援を行った。実績：コーディネーターによる相談・援助(常設) ボランティア相談日「ボランティアやったるDAY！」の実施年4回					
							29	2	4	保育課	子育て相談支援事業(内部管理事業)			子育てコンシェルジュが子育てに関する相談に対応します。				①			子育てに関する相談を受けた際、子育てに関する知識を得る講座の受講等を希望する者に対して、子育て情報誌「すくすく」を配布した。	継続	次年度も引き続き保育を必要とする市民からの相談において、それぞれにとって適切なサービスの紹介等を行い、安心して育児が行われるよう、支援を継続する。
																			⑤	c	保護者等が安心して育児が行える支援ができた。		

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
30	3	1	危機管理室	地域災害対策事業	市防災訓練や区・自治会主催の防災訓練のほか、出前講座や母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布する等、市民防災への意識の高揚を図ります。	③	b 学習成果を地域に還元できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○ ○	出前講座等により、市民の防災への意識の向上を図ることができた。母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布することで、子育て家庭に対して災害時の備え等を周知することができた。	継続	次年度も引き続き防災訓練や出前講座等を実施し、市民の防災意識の向上を図る。
31	3	1	政策推進課	男女共同参画推進事業	男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎ ◎ ×	男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援した。 実施内容：令和2年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み、男性のための応援料理教室として、簡単にできる調理レシピをHPと市政だよりに掲載する形で1回実施 HPのPV数：334回(2020.12.23-2021.03.31)	継続	次年度も引き続き男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援する。
32	3	1	政策推進課	国際交流事業	姉妹都市リバモア市との中学生を対象とした交換留学を実施します。	① ③	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。 a 学習者同士の交流の場を提供できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	× × × × ×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。	縮小	新型コロナウイルス感染症の感染状況が収束するまでは、参加者の安全を確保するため、事業を実施しない予定だが、市政だよりや市ホームページにおいて過去の事業の様子を掲載することで市民に事業を広く周知する。
33	3	1	自治振興課	防犯対策事業	防犯講習会を開催し、防犯意識の高揚を図ります。	③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	△	市、防犯協会、警察等の関係団体と協力し、市民の防犯意識の高揚と知識の普及・啓発を目的に、防犯講習会の開催に向け準備を行った。 実績：防犯講習会実施回数0回 実施団体数0団体 参加人数0人 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実績なし	継続	次年度も引き続き防犯講習会を開催し、防犯意識の高揚を図り、安心して安全なまちづくりの推進に努める。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視して、講習会の開催等について判断していく必要がある。
34	3	1	自治振興課	交通安全対策事業	幅広い世代に向けた交通安全教育の推進を図ります。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。 b 学習成果を地域に還元できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	△ △ △	幼児や高校生、高齢者に対する交通安全教室を実施することで、交通安全教育の推進が図られた。 実績：交通安全教室実施回数13回 実施団体数13団体 参加人数481名 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実績減	継続	次年度も引き続き幅広い世代に向けた交通安全教育の推進を図り、安心して安全なまちづくりの推進に努める。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視して、交通安全教室の実施等について判断していく必要がある。
35	3	1	子育て支援課	児童センター運営委託事業	地域で活動するボランティア団体・市民活動団体等の協力を得て、児童センターの運営に取り組みます。	⑤	b 家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。	○	四街道市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、児童センター2か所の運営を行った。 なお、事業については、四街道市レクリエーション協会、その他多数のボランティアの協力のもと実施している。	継続	次年度も引き続き感染拡大予防対策に取り組み、市民が児童センターに携われる機会を設けていく。
36	3	1	産業振興課	消費者教育推進事業	消費生活に関する意識の高揚を図るため、講座を実施します。	① ③	b 参加対象者に広く周知できた。 b 学習成果を地域に還元できた。	△ △	市内にある協力事業者と協議の結果、子どもたちの消費者としての勉強の場として、「子ども消費者教室」は中止となった。 市内にある協力事業者と協議の結果、子ども消費者教室など、消費者としての正しい知識を習得してもらえる場は中止となった。	継続	次年度も引き続き、協力事業者と相談しながら実施について検討していく。



No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針	
40	3	1	社会教育課	公民館管理運営事業	高齢社会に対応した講座を実施します。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	△	当初は65歳以上の高齢者を対象とした講座(長寿大学、福寿大学、あさひ寿大学)を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。	継続	次年度も引き続き日常生活や現代的課題を題材とした講座を実施していく。	
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○				
							③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。				○
								a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。				△
							⑤					
41	3	1	スポーツ青少年課	青少年体験活動事業	青少年の健全育成を推進するため、市民団体等の協力を得て、体験活動を実施します。	⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	×	通学合宿(2泊3日)を2回実施する予定であったが、コロナ禍における実施が困難なため実施を見送った。	継続	次年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施可能な方法を模索しながら、引き続き教室では体験できないことを学び、子どもたちの社会性、自主性、協調性を伸ばし生きる力を育んでいく。	
42	3	2	政策推進課	国際交流事業	国際交流協会と協力し、短期留学事業の継続を図ります。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止した。	縮小	新型コロナウイルス感染症の感染状況が収束するまでは、参加者の安全を確保するため、事業を実施しない予定だが、市政だよりや市ホームページにおいて過去の事業の様子を掲載することで市民に事業を広く周知する。	
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×				
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				×
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。				×
43	3	2	政策推進課	コラボ四街道事業	市民団体が提案した地域の魅力を創出する事業を支援します。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	×	コラボ四街道において、採択事業の中に、当年度高齢者を主な対象とする事業がなかった。 実績:事業2件中0件対象	継続	次年度も引き続き様々な立場の市民が提案・実施する地域づくり活動に対し、補助金の交付をはじめとした支援を行う。	
							⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。				◎
												コラボ四街道において、子どもを主な対象にした事業の支援を行った。 実績:事業2件中1件対象
44	3	2	社会福祉課	シニアクラブ支援事業	クラブ活動を支援し、高齢者の生きがいづくりや健康増進を図ります。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	高齢者向けスポーツ大会や芸能大会の企画・開催や、高齢者福祉の増進を図っているシニアクラブ連合会及び単位シニアクラブに対し事業費の一部を補助することにより、地域の高齢者に対し社会参加・交流をする機会を提供できた。また、活動方針等については、必要に応じて指導を行った。	継続	今後も引き続き高齢者福祉の増進のため必要な支援を行っていく。	
45	3	2	社会福祉課	シルバー人材センター支援事業	高齢者の就労機会を提供するため、センターの運営を補助します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	シルバー人材センターの運営費・事業費の一部を補助することで、高齢者の就労機会、社会参加等の確保に寄与した。 実績:会員数574人、就業延人員数56,718人	継続	今後も引き続き高齢者の就労機会を提供しているシルバー人材センターを支援していく。	

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
46	3	2	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	ボランティアの機会を提供するため、センターの運営を補助します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保に寄与した。 実績：コーディネーターによる相談・援助(常設) ボランティア情報紙の発行年3回(4・10・1月)発行 39,500部/回 ボランティア育成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	継続	今後も引き続きボランティア活動の支援と連絡調整を担うボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の活動に対し支援していく。
							③	b 学習成果を地域に還元できた。			
47	3	2	高齢者支援課	高齢者在宅生活支援事業	福祉タクシー利用券によるタクシー利用料の助成事業を通じて、高齢者の社会参加を促進します。	②			乗車1回あたり、料金の半額(上限1,000円)を助成し、高齢者の社会参加を促進できた。 実績：交付者数45人 延利用枚数244枚 決算額212,150円	継続	新型コロナウイルス感染症により、外出を控える傾向があるが、次年度も引き続き、福祉タクシー利用券を交付することで高齢者の社会参加を促進する。
							d (移動手段にかかる費用の助成)	○			
48	3	2	障害者支援課	障害者自立支援給付事業	介助者が外出をサポートする同行援護、行動援護、移動援護を提供し、障害のある人の社会参加を促進します。	④			障害者の外出をサポートするサービスのうち、視覚障害者(児)を対象とする同行援護、重度の知的障害者(児)を対象とする行動援護を提供し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：同行援護延利用者数308人 行動援護延利用者数217人	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各サービスの利用枚数は前年度よりも減少となったが、次年度も引き続き、サービス提供を継続し、障害者の社会参加を促進させる。 (減少幅：同行援護 R1年度406人→R2年度308人 行動援護 R1年度274人→R2年度217人)
							d (障害者の社会参加の促進)	○			
49	3	2	障害者支援課	地域生活支援事業	介助者が外出をサポートする同行援護、行動援護、移動援護を提供し、障害のある人の社会参加を促進します。	④			障害者の外出をサポートするサービスのうち、身体・知的・精神障害者(児)を対象とする移動支援を提供し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：移動支援延利用者数459人	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、移動支援の利用延人数は前年度よりも減少となったが、次年度も引き続き、サービス提供を継続し、障害者の社会参加を促進させる。 (減少幅：R1年度707人→R2年度459人)
							d (障害者の社会参加の促進)	○			
50	3	2	障害者支援課	障害福祉推進事業	福祉カーの貸出や福祉タクシー利用料の助成を通じて、障害のある人の社会参加を促進します。	④			福祉カーの貸出事業を実施し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：福祉カー貸出件数36件	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、福祉カーの貸出件数は前年度よりも減少となったが、次年度も引き続き福祉カーの貸出事業を継続し、障害者の社会参加を促進させる。(減少幅：R1年度60件→R2年度36件)
							d (障害者の社会参加の促進)	○			
51	3	2	障害者支援課	在宅生活支援事業	福祉カーの貸出や福祉タクシー利用料によるタクシーの利用料の助成を通じて、障害のある人の社会参加を促進します。	④			重度の障害者を対象とした福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成事業を実施し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：福祉タクシー券延利用枚数6,150枚	継続	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、福祉タクシー券利用枚数は前年度よりも減少となったが、次年度も引き続き、助成事業を継続し、障害者の社会参加を促進させる。 (減少幅：R1年度9,328枚→R2年度6,150枚)
							d (障害者の社会参加の促進)	○			
52	3	2	障害者支援課	意思疎通支援事業	手話通訳者(市または千葉県聴覚障害者協会登録の手話通訳者)の派遣等を行い、意思疎通に手話等が必要とする人と、健常者との意思疎通支援を行います。	④			意思疎通に手話等が必要とする人への手話通訳者の派遣等を実施し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげた。 実績：手話通訳者延派遣件数244件	継続	緊急事態宣言中の派遣事業は行われなかったため件数は減少したが、次年度も引き続き手話通訳の派遣を継続し、障害者の社会参加を促進させる。 (減少幅：R1年度392件→R2年度244件)
							d (障害者の社会参加の促進)	○			

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針	
53	3	2	社会教育課	市民芸術公演事業	市民団体と共催により展示会等を実施し、文化活動を活性化します。		①	b 参加対象者に広く周知できた。	△	市民団体と共催により展示会と演劇公演を実施することにより、多様な芸術文化を鑑賞できる場を提供する。また、市政だよりやホームページを活用し、広く周知する。 なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になった。	継続	次年度は新型コロナウイルス対策を考慮しながら、市民団体と共催する展示会等の開催に努める。
							②	c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	△	幅広い年齢層を対象として参加者を募集することにより、学習成果が発表できるよう援助する。 なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になった。		
							③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	△	優良な実績を持つ市民団体との共催により展示会と演劇公演を実施し、多様な芸術文化を鑑賞できる場を提供する。また、「実体」による芸術を提供することにより、学習意欲の向上へ寄与する。 なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になった。		
							④	c スポーツ・文化活動等、学習を支援する環境(人材)を整えた。	△	幅広い人材を対象として参加者を募集することにより、学習成果が発表できるよう援助した。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になった。		
54	3	2	社会教育課	芸術文化活動支援事業	市民ギャラリー等を利用し、市民団体主体の芸術文化活動を活性化します。		①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	市民ギャラリーの貸出及び芸術文化振興助成金交付により学習成果の発表の場を提供した。また、インターネットを活用することにより、利用方法や申請書類を手軽に入手できるようにし、学習意欲の向上につなげた。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や利用辞退により開館日数が減少した。 実績:9週閉館 来場者総数1,529人 貸出団体9団体	継続	次年度も引き続き市民ギャラリーの貸出等事業を実施し、芸術文化活動の活性化を図る。
							②	c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○	展示会・発表会等の幅広い分野を事業対象とすることにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果発表できるよう援助した。		
							③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○	展示会・発表会等の幅広い分野を事業対象とすることにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果発表できるよう援助した。		
							④	c スポーツ・文化活動等、学習を支援する環境(人材)を整えた。	○	展示会・発表会等の幅広い分野を事業対象とすることにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果発表できるよう援助した。		
55	3	2	社会教育課	文化財保護管理事業	地域の文化財の保存に取り組みます。		①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	「よもやま話」を市政だよりとHPに掲載し、利便性の高い学習機会を提供した。 実績:年2回掲載	継続	次年度は新型コロナウイルスの状況を注視しながら、例年の事業を行えるように努める。
							②	c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	△	「文化財ガイドボランティアの会」と共同で、成台中地区において文化財散歩を企画し、市民の知識を活かす場を提供する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。		
							③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○	「よもやま話」の掲載、博物館等への資料貸出等の文化財活用をすすめることにより、学習者の意欲に応じて情報収集ができるよう努めた。		

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針		
56	3	2	社会教育課	市史編さん事業	歴史資料の収集・整理を行い、目録集や研究誌を発行します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	四街道の歴史(資料編近現代3)を刊行するとともに、過去に刊行した四街道市史等について、購入や内容に対してメールでの問い合わせに応じた。	継続	次年度も引き続き市史発刊の25か年計画に合わせ史料の収集調査を行っていく。		
							③	b 学習成果を地域に還元できた。				○	市史発刊の25か年計画に合わせ史料の収集調査を行った。
57	3	2	社会教育課	市民大学講座事業	市民大学講座修了者による運営委員会を組織し、講座の企画・運営を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	一般課程・専門課程ともに内容を精査することで、現役世代も参加しやすいようにした。 また、ホームページ、公共施設でのチラシの設置等広く周知を行った。 実績：一般課程9講座(うち3講座休講) 専門課程中止	継続	次年度も引き続き運営委員会と協働で企画・運営する予定だが、新型コロナウイルス感染拡大状況に注視し、開催時期等を含め慎重に検討していく。		
							b 参加対象者に広く周知できた。	○					
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。				◎	一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画・運営を行った。
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎					
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				◎	市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機となった。また、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす契機づけとなった。
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎					
							④						障害者本人に講師として障害者の現状や手助けしてほしいこと等講演してもらい、学習成果を地域に還元できる講座とできないか検討した。令和2年度は開催できなかったが、今後も検討を続けていく。
							d (講師としての検討を行った)	◎					
							⑤						一般課程においては、視覚障害者の理解を深められる講座を開催し、保護者等の安心につながる内容となった。
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○					
58	3	2	スポーツ青少年課	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	市民団体の協力を得て、スポーツ教室等を実施します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	感染症の影響により活動休止となり、その旨の周知を行った。	継続	次年度も引き続き活動の支援を継続していくが、活動にあたっては感染症対策の徹底を求めていく。		
							②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。				△	感染症の影響により活動休止となった。
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				△	感染症の影響により活動休止となった。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針										
59	3	3	政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	地域づくりの人材育成や市民活動活性化のための講座を実施します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	◎	地域づくりの主体となる団体の情報交換・意見交換の場を提供した。	継続	次年度も引き続き地域づくりサロン等で立ち上がった市民団体の支援や、地域課題解決に向けた取り組みを行い、地域活性化につながる人材の育成を図る。										
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎													
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				◎									
								b 学習成果を地域に還元できた。				○									
								c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。				◎									
							60	3				3	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会と連携し、ボランティアを担う人材を育成します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保に寄与した。 実績：コーディネーターによる相談・援助(常設) ボランティア情報紙の発行年3回(4・10・1月)発行 39,500部/回 ボランティア育成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	継続	次年度も引き続きボランティア活動の支援と連絡調整を担うボランティアセンターを運営する社会福祉協議会の活動に対し支援していく。
③	b 学習成果を地域に還元できた。	○																			
	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、活動の支援を行った。 実績：コーディネーターによる相談・援助(常設) ボランティア情報紙の発行年3回(4・10・1月)発行 39,500部/回 ボランティア育成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。																				
61	3	3	産業振興課	森林ボランティア養成事業	森林の整備や保全活動を担う人材を養成します。	①			b 参加対象者に広く周知できた。	○	森林ボランティア養成講座の参加者募集時に、既に決まっていた実施日に対し参加者からの曜日の変更等の希望は特に聞かれず、参加者全員が全3回の講座に参加できた。 実績：参加者4名(延12名)						継続	次年度も引き続き森林ボランティアを育成する事業を実施し、市民の生涯学習活動を支援するとともに、市内の森林整備の担い手として活躍できる場を提供していく。			
									c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○											
							②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○												
								b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎												
								c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○												
							62	3	3	社会教育課		生涯学習推進事業	・地域人材を登録・活用するアシスト事業を推進します。 ・生涯学習推進員の配置を検討します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎			生きがいづくりアシスト事業においては、講師との調整により日程が選べるようになっていた。また、市政だより・ホームページ・ガイドブックへの掲載に加え、一日体験講座を実施し、事業の紹介に努めた。	継続	次年度も引き続き生きがいづくりアシスト事業を実施し、知識や技能を生かす場を提供していく。
b 参加対象者に広く周知できた。	◎																				
②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎																			
	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎																			
	生きがいづくりアシスト事業においては、専門的な知識や技能を持った市民にボランティア講師として登録してもらっており、高齢者の活躍の場を提供できた。 実績：登録講師38人																				
③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎																			
	b 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎																			
	生きがいづくりアシスト事業においては、事業の紹介を目的に複数の講師の協力のもと「一日体験講座」を実施し、市民と講師だけでなく、同じ内容に興味を持った受講生同士の交流にもつながった。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参加人数を制限して実施した。 実績：講座数7講座(当初9講座予定)、参加者37人																				
④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。	○																			
	生きがいづくりアシスト事業においては、制限はあるものの障害の有無に関わらず事業を展開しているが、特筆すべき利用希望者はいなかった。																				
⑤																					
	生きがいづくりアシスト事業には「芸術・文化」「スポーツ・レクリエーション」「家庭生活・趣味」等、多くの分野の講座が登録しており、安心して育児が行える環境を提供できた。																				
	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○																			



No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針										
63	3	3	社会教育課	市民大学講座事業	地域活性化を担う人材を育成します。		a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	一般課程・専門課程ともに内容を精査することで、現役世代も参加しやすいようにした。 また、ホームページ、公共施設でのチラシの設置等広く周知を行った。 実績：一般課程9講座(うち3講座休講) 専門課程中止	継続	専門課程においては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 次年度も引き続き実施予定ではあるが、開催時期等を含め慎重に検討していく。										
							b 参加対象者に広く周知できた。	○													
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎				一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画・運営を行った。									
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎													
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎				市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機となった。また、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす動機づけとなった。									
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎													
							b 関係部署と連携し、参加者を募った。	○				障害者本人に講師として障害者の現状や手助けしてほしいこと等講演してもらい、学習成果を地域に還元できる講座とできないか検討した。令和2年度は開催できなかったが、今後も検討を続けていく。									
							d (講師としての検討を行った)	◎													
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○				一般課程においては、視覚障害者の理解を深められる講座を開催し、保護者等の安心につながる内容となった。									
							64	3				3	スポーツ青少年課	青少年育成活動支援事業	地域活性化を担う、ジュニアリーダーを育成します。		a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○	子ども会育成連合会に補助金を交付し、活動支援を行った。(印旛郡市30,500円、四街道市119,647円) また、補助金を活用して市内の小学5、6年生及び中学生を対象とした講習会を4回開催し、12人の受講生が参加した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響から当初予定していた活動回数等が例年に比べ少なかった。	継続	次年度も引き続き新型コロナウイルスの蔓延状況を見ながら各単位数子ども会育成者を対象に講習会を開催し、子ども会の活性化を図る。また、関係諸団体との協力により市内行事への参加や地域のコミュニケーションづくりを図る活動に対して支援を行う。
																	b 参加対象者に広く周知できた。	○			
																	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○			
							65	3				4	危機管理室	地域災害対策事業	防災訓練や乳幼児の健診時に「防災ハンドブック」を配布し、防災意識の高揚を図ります。		b 学習成果を地域に還元できた。	○	母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布することで、子育て家庭に対して災害時の備え等を周知することができた。	継続	次年度も引き続き防災訓練の実施や防災ハンドブックの配布を行い、市民の防災意識の向上を図る。
																	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○			
																	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎			
b 参加対象者に広く周知できた。	◎																				
c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×																				
66	3	4	政策推進課	男女共同参画推進事業	市民団体が実施する講座・イベント等の開催を支援し、男女共同参画意識の醸成に努めます。		a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援した。 実施内容：令和2年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み、男性のための応援料理教室として、簡単にできる調理レシピをHPと市政だよりに掲載する形で1回実施 HPのPV数：334回(2020.12.23-2021.03.31)	継続	次年度も引き続き男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援する。										
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎													
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×													
67	3	4	自治振興課	防犯対策事業	防犯意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。		a 学習者同士の交流の場を提供できた。	△	様々な団体が協力してイベントが開催され、防犯意識の高揚を図るための啓発活動が展開された。	継続	次年度も引き続き学習会やイベントの開催等を利用して啓発活動を展開していく。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視して、イベントの開催等について判断していく必要がある。										
							b 学習成果を地域に還元できた。	△													
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	△													
68	3	4	自治振興課	交通安全対策事業	交通安全意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。		a 学習者同士の交流の場を提供できた。	△	学習会やイベントの開催等を利用して啓発活動を行い、学習意欲の向上を図ることができた。	継続	次年度も引き続き学習会やイベントの開催等を利用して啓発活動を行い、学習意欲の向上を図る。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視して、イベントの開催等について判断していく必要がある。										
							b 学習成果を地域に還元できた。	△													
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	△													
69	3	4	社会福祉課	人権擁護事業	人権週間に合わせた啓発活動を行い、人権意識の高揚を図ります。		b 参加対象者に広く周知できた。	◎	人権週間に合わせた啓発活動として、市役所周フェンスの横断幕を設置、市広報紙での記事の掲載を行い、市民の人権意識の高揚が図れた。	継続	次年度も引き続き人権週間に合わせた啓発活動を行い、人権意識の高揚を図る。										
							a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○													

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
70	3	4	環境政策課	環境保全対策事業	地球温暖化防止の意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ○ ×	各家庭から排出される二酸化炭素排出量を数値として見える化することで、自己の環境意識を高め、省エネルギーへの取り組みを助長できる環境家計簿を市ホームページで入手できるようにしている。なお、この取組等に係る費用の支出はない。	継続	次年度も引き続き環境家計簿を利用した日常生活における環境負荷の見える化の取組の促進や環境出前講座等の活動の支援により、地球温暖化防止の意識の高揚を図るための啓発活動を行う。 なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年3月から講座等の開催は見合わせている状況である。
71	3	4	廃棄物対策課	ごみ減量化・リサイクル推進事業	ごみの減量・リサイクル意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ◎ ◎	四街道高校料理研究部の協力により、ユニバーサル農業フェスタにおいて、通常は廃棄してしまう食材(うどんの切れ端)を使った商品を販売し、食品ロス削減を啓発した。 また、四和小学校4年生の総合学習の時間を利用して、市内のごみ処理の現状や日常生活で簡単に取り入れることができるごみの減量と分別方法について授業を行った。	継続	次年度も引き続き食品ロス削減の啓発をはじめ、ごみの減量や分別、資源化に関する啓発活動を行っていく。
72	3	4	産業振興課	消費者教育推進事業	消費生活に関する意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	消費者の学習機会の確保、また、その時代に関心のある講座を取り入れるなど、内容の充実も図り、賢い消費者の育成に取り組んだ。 また、市政だより、市ホームページを使用し広く周知を行ったが、イベントでの啓発活動は中止となった。	継続	次年度も引き続き「消費生活講座」の同回数開催を維持し、消費者学習機会の確保、また、その時代に関心のある講座を取り入れるなど、内容の充実も図り、賢い消費者の育成に取り組んでいく。
						③	b 学習成果を地域に還元できた。	○	市民の消費生活に関する意識の向上を図るため、「消費生活講座」を実施できた。 しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、例年行っている消費生活展と出前講座は中止となった。 実績：消費生活講座実施回数7回 延受講者数146人		
73	3	4	社会教育課	人権教育事業	人権週間に合わせて講演会を開催し、人権意識の高揚を図ります。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	△	市民団体「みんなで人権を考える会」と関係部署との協議の結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「人権講演会」は中止となった。	継続	次年度も引き続き効果的に啓発活動を行い、人権意識の高揚を図る。
						③	b 学習成果を地域に還元できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○ ○	毎月行っている、市民団体主催の定例会に参加し、人権に関する課題を掘り下げて学習できるよう、市民の企画力を引き出した。		
						④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。	△	市民団体「みんなで人権を考える会」と関係部署との協議の結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「人権講演会」は中止となった。		
74	4	1	自治振興課	ふるさとまつり事業	盆踊りや本御輿の参加を通じて、文化的伝統を次の世代に伝え、学習する機会を提供する市民参加型のまつりを開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	×	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う警備員の確保が困難である等により開催を延期とした。	その他	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期により、令和3年度においても、前年度と同様に警備員の確保が困難であるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による参加者、来場者の安全確保において大いに課題がある。
						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	×	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う警備員の確保が困難である等により開催を延期とした。		

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
75	4	1	産業振興課	産業まつり実施事業	市内産業産物や商工業製品の展示、即売を通じて、市内産業を市民に広く知っていただき、生産者・商工業者と消費者との相互理解を深めるまつりを開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	△	令和2年度で44回目を迎える市のイベントであり、広く認知されている事業だが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、書面による協議の上で中止となった。	継続	次年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により例年通りの実施が困難であることから開催については、慎重に検討する必要がある。
76	4	1	社会教育課	市民文化祭事業	芸術文化活動の発表・展示のほか、体験教室等により、市民の芸術文化活動への意欲を高めるまつりを開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	△	実行委員会と共催し、展示会・発表会等の幅広い分野の事業を展開することにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果が発表できるよう援助する。また、市民文化祭について、市政だより、HP、ポスター、チラシといった様々な媒体を利用し、市民へ広く周知するように努める。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できなかった。	継続	次年度は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、市民文化祭が行えるよう努めていく。
②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	△	幅広い年齢層を対象として、展示会・発表会等の幅広い分野の事業を展開することにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果が発表できるよう援助した。また、多様な芸術文化が鑑賞でき市民同士が交流する場を提供した。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になった。								
③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	△	幅広い年齢層を対象として、展示会・発表会等の幅広い分野の事業を展開することにより、参加者の拡大に努め、日頃の学習活動の成果が発表できるよう援助する。また、多様な芸術文化が鑑賞でき市民同士が交流する場を提供する。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になった。								
④	a ライフステージに合わせた学習を提供できた。	△	千葉県立四街道特別支援学校等と連携して「児童生徒作品展」を開催し、市内小中学校の情操教育の成果を発表する機会と場を提供する。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になった。								
77	4	1	スポーツ青少年課	ガス灯ロードレース大会事業	市民の体力向上や健康増進を図るほか、パラロードレース大会を同時に開催し、障害のある人もない人も楽しめる大会を開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○	ガス灯ロードレース大会の開催は、感染症の影響により中止となったが、その旨の周知を市ホームページや市政だよりを通じて行った。	継続	次年度の大会の実施に向けて、コロナ禍の続く情勢を踏まえ、「密」の回避等、感染症対策を検討していく。
②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	×	感染症の影響により中止となった。								
④	c スポーツ・文化活動等、学習を支援する環境(人材)を整えた。	×	感染症の影響により中止となった。								
78	4	2	自治振興課	コミュニティ施設維持管理事業	地域活動の拠点となる区・自治会の集会所の整備等に対し補助を行い、コミュニティ活動の推進を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	施設の整備等に対し補助を行うことで、年間を通じ施設の活用を推進した。 実績：自治会館への補助(修繕費:9件、備品費:5件、管理費:66件、建設費2件)	継続	次年度も引き続きコミュニティ施設維持管理事業を実施し、市民の生涯学習活動を支援する。
②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	施設の整備等に対し補助を行うことで、高齢者にとって活動しやすい場を提供できた。								
③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	施設の整備等に対し補助を行うことで、市民と講師だけでなく、受講生同士の交流にもつながった。								

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針
79	4	2	社会福祉課	シニア憩いの里運営支援事業	施設維持管理費の一部を補助し、高齢者の集いの場の確保・維持に努めます。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	地域住民等が自主的に運営し、高齢者が自由に集い交流できることを目的とする施設に対し、施設維持管理費の一部を補助できた。 実績：全中学校5地区中1施設(千代田中学校地区)設置	継続	次年度も引き続き1中学校区1施設を目標に全地区に設置できるよう努めていく。
80	4	2	社会福祉課	総合福祉センター管理運営事業	施設の維持保全を行い、各種団体やサークルに活動の場を提供するための環境整備に努めます。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	施設を利用している各種団体やサークルに対し安定的に利用の出来る活動の場を提供するため施設の維持管理・修繕等を随時行った。また、利用実績等を集計することにより、多様化する利用ニーズの把握にも務めた。 実績：開館日数238日 利用者数23,365人(児童センター5,196人、老人福祉センター8,310人、地域福祉センター9,859人)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のために閉館したため、開館日数が昨年度に比べて減少しています。)	継続	次年度も引き続き施設の維持保全に努めていく。
81	4	2	社会福祉課	南部総合福祉センター管理運営事業	施設の維持保全を行い、各種団体やサークルに活動の場を提供するための環境整備に努めます。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	施設を利用している各種団体やサークルに対し安定的に利用の出来る活動の場を提供するため施設の維持管理・修繕等を随時行っています。また、利用実績等を集計することにより、多様化する利用ニーズの把握にも務めています。 実績：開館日数238日 利用者数45,389人(児童センター7,800人、老人福祉センター6,611人、ふれあいセンター30,978人)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のために閉館したため、開館日数が昨年度に比べて減少しています。)	継続	今後も引き続き施設の維持保全に努めていく。
82	4	2	子育て支援課	児童センター運営委託事業	子育て支援を推進する拠点施設として、児童センターの環境整備に努めます。	⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	四街道市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、児童センター2か所の運営を行った。 なお、センター内の遊具等については、事故発生時・緊急時対応マニュアルに記載している「安全点検チェック表」に基づき管理しているほか、新たにクッション性遊具を購入するなど児童センターの環境整備に努めた。	継続	次年度も引き続き経年劣化による修繕を必要とする箇所が発生しやすいことを念頭に、安全確認を行うとともに修繕の必要性が生じた際は、利用ニーズに合わせて効果的且つ計画的な修繕となるよう対応していく。また、新型コロナウイルス感染症拡大影響下では、施設の消毒や換気等感染拡大防止対策に取り組み、来館者にとって安心して利用しやすい環境整備に取り組んでいく。
83	4	2	保育課	こどもルーム運営事業	小学生が放課後に学習や遊びを行い、生活の場となるようこどもルームの環境整備に努めます。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○	各こどもルームで「自習」の時間を設けた。 実績：こどもルーム数22ルーム	継続	こどもルーム需要が増加することが見込まれており、人数の増加に伴うことで現状の質を低下させないよう、今後も引き続き環境整備に努める。
						⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○	宿題を行える環境を整備することで、保育の必要性が有る家庭内においても教育がスムーズに行えるよう支援した。		
84	4	2	都市計画課	都市公園緑地維持管理事業	スポーツ施設の改修等を行い、スポーツ活動の環境整備に努めます。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。	○	庭球場などの有料公園施設については、新型コロナウイルスの影響で施設の閉場があったが、生涯学習活動の場を提供することができた。	継続	次年度も引き続き経年劣化した公園施設の改修等を行うことにより、身近な学習の場となるスポーツ施設の環境の整備に努めていく。
						②	a 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。 b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎	スポーツ施設の適切な維持管理により、施設の安全性を確保し、子どもから高齢者まで幅広い層の市民の健康づくりの場を提供することができた。		
						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎	スポーツ施設の適切な維持管理により、施設の安全性を確保し、生涯学習活動の場を提供することができた。		
85	4	2	教育総務課	教育委員会事務局運営事業	教育関係の情報コーナーを設置し、生涯学習の推進を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	第二庁舎の1階スペースに「学習情報コーナー」を常設し、生涯学習に関するポスターの掲示やパンフレット等の配架を行った。第二庁舎の開庁日(時間中)は、いつでも、だれでも情報収集に立ち寄ることができるようになっている。 実績：開庁265日	継続	次年度も引き続き「学習情報コーナー」を設置し、市民の生涯学習活動を支援します。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	主な取り組み	方針	課題と次年度の方針	
86	4	2	社会教育課	公民館管理運営事業	社会教育を推進する拠点施設として公民館の環境整備に努めます。		a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○	必要に応じて修繕・工事などを実施し、多様な世代が使用する公民館の環境整備に努めることができた。	継続	次年度も引き続き公民館の環境整備に努めていく。	
							②	c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。				○
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				○
							⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。				○
87	4	2	社会教育課	歴史民俗資料施設整備事業	歴史民俗資料を整理・活用し、まちの歴史を知る機会を提供します。		a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎	高齢者の知識を活かす場を提供するため、文化財活用員や四街道市の昔の様子をよく知る高齢者を講師に迎え、歴史民俗資料室の見学対応ほか、民具や文化財の出前授業等を実施した。 実績：歴史民俗資料室見学2校(115人) 出前授業等5校(516人)	継続	次年度も引き続き歴史民俗資料室の見学会や出前授業を行っていく。	
							②	c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。				○
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				◎
								d (モノから学ぶ視点を提供することができた)				◎
88	4	2	スポーツ青少年課	体育施設管理運営事業	スポーツ施設の改修等を行い、スポーツ活動の環境整備に努めます。		b 参加対象者に広く周知できた。	◎	修繕や改修工事を計画的・効率的に執行することで、施設と利用者の保全を図るとともに指定管理者との連携により利用者への適切なサービスの提供に努めた。	継続	次年度も引き続き施設の経年劣化の進行による修繕や改修工事の計画的・効率的な執行をしていく。また、コロナ禍の続く情勢を踏まえ、施設の供用に際しても「密」の回避等、感染症対策を継続していく。	
							②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。				◎
							③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。				◎
89	4	2	図書館	図書館管理運営事業	市民が快適に学習・読書ができる生涯学習施設として計画的な改修等に努めます。		a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	年間239日開館、平日は午後7時まで閉館する等、多様な働き方をする市民が来館しやすい施設の運営に努めた。	継続	次年度も引き続き経年劣化に対応した修繕を行う。	
							①	b 参加対象者に広く周知できた。				◎
							③	c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。				◎
								d (生涯学習施設の維持管理)				○
								市内唯一の図書館として、エレベータ改修工事を実施し施設の長寿命化を図った。				
								通路、動線の確保、安全への配慮に努めた施設の運営を行った。				
								d (安全に配慮した施設整備)	○			
90	4	2	図書館	資料管理整備事業	市民のニーズを大切に資料収集や多様な学習に役立つ図書等を提供し、市民の生涯学習の充実を図ります。		a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	◎	インターネットによる蔵書検索・予約により、来館を要さず必要とする資料を自由に調べ、確保する環境が整っている。また、電子図書館を導入し、いつでも、どこにいても読書が楽しめる環境整備を図った。	継続	次年度も引き続き、紙媒体の資料とともに電子書籍の購入により、市民の多様なニーズに応え、生涯学習の充実を図る。	
							③	d (市民の生涯学習推進に努めた)				◎

四街道市生涯学習推進計画(第3次)事業別当初予算額・決算額について

課コード	担当課	事業名	R2当初予算	R2決算	R3当初予算
0010	危機管理室	地域災害対策事業	38,617,000	39,979,217	31,811,000
0101	政策推進課	国際交流事業	1,463,000	0	1,216,000
0101	政策推進課	男女共同参画推進事業	2,182,000	1,368,700	513,000
0101	政策推進課	みんなで地域づくりセンター運営事業	11,301,000	12,643,290	10,354,000
0101	政策推進課	コラボ四街道事業	6,057,000	639,000	4,677,000
0202	自治振興課	コミュニティ施設維持管理事業	40,151,000	40,546,208	19,275,000
0202	自治振興課	ふるさとまつり事業	0	0	8,441,000
0202	自治振興課	防犯対策事業	25,657,000	26,856,013	29,801,000
0202	自治振興課	交通安全対策事業	1,601,000	1,373,908	1,480,000
0301	社会福祉課	人権擁護事業	586,000	562,275	574,000
0301	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	88,689,000	86,946,583	88,402,000
0301	社会福祉課	総合福祉センター管理運営事業	31,166,000	32,800,559	26,061,000
0301	社会福祉課	南部総合福祉センター管理運営事業	39,033,000	40,588,749	41,948,000
0301	社会福祉課	シニアクラブ支援事業	4,553,000	3,951,914	4,224,000
0301	社会福祉課	シルバー人材センター支援事業	13,200,000	13,200,000	13,200,000
0301	社会福祉課	シニア憩いの里運営支援事業	1,440,000	360,000	1,080,000
0303	高齢者支援課	高齢者在宅生活支援事業	33,154,000	32,010,172	36,361,000
0303	高齢者支援課	一般介護予防事業	5,388,000	391,055	1,911,000
0304	障害者支援課	障害者自立支援給付事業	1,967,873,000	2,045,037,041	2,098,956,000
0304	障害者支援課	地域生活支援事業	83,119,000	75,630,227	65,796,000
0304	障害者支援課	在宅生活支援事業	15,203,000	11,960,529	14,421,000
0304	障害者支援課	障害福祉推進事業	156,515,000	138,875,138	73,842,000
0304	障害者支援課	意思疎通支援事業	5,963,000	3,773,618	6,470,000
0401	子育て支援課	児童センター運営委託事業	26,426,000	27,125,378	26,788,000
0402	保育課	中央保育所保育運営事業	22,654,000	16,435,061	17,102,000
0402	保育課	千代田保育所保育運営事業	18,665,000	14,930,366	15,108,000
0402	保育課	子育て相談支援事業(内部管理事業)	1,483,000	1,420,356	1,483,000
0402	保育課	こどもルーム運営事業	188,838,000	205,256,000	291,721,000
0403	健康増進課	健康よつかいどう21プラン推進事業	447,000	375,384	424,000
0403	健康増進課	成人保健事業	366,000	534,220	672,000
0403	健康増進課	母子保健事業	82,774,000	76,824,341	88,510,000
0501	環境政策課	環境保全対策事業	5,671,000	4,798,000	5,932,000
0502	廃棄物対策課	ごみ減量化・リサイクル推進事業	60,444,000	48,589,066	70,894,000
0503	産業振興課	農産物生産等支援育成事業	9,608,000	7,370,892	9,883,000
0503	産業振興課	消費者教育推進事業	991,000	510,782	1,187,000
0503	産業振興課	森林ボランティア養成事業	142,000	51,984	573,000
0503	産業振興課	産業まつり実施事業	2,600,000	0	4,131,000
0601	都市計画課	都市公園・緑地維持管理事業	275,285,000	219,800,839	234,930,000
1301	教育総務課	教育委員会事務局運営事業	49,598,000	47,174,548	47,460,000
1304	社会教育課	学校支援活動事業	2,215,000	2,147,329	2,254,000
1304	社会教育課	人権教育事業	34,000	0	34,000
1304	社会教育課	子育て学習事業	100,000	0	100,000
1304	社会教育課	放課後子ども教室推進事業	1,578,000	752,490	1,578,000
1304	社会教育課	市民文化祭事業	3,914,000	0	3,914,000
1304	社会教育課	市民芸術公演事業	1,405,000	524,816	1,400,000
1304	社会教育課	芸術文化活動支援事業	1,983,000	91,929	3,855,000
1304	社会教育課	公民館管理運営事業	109,587,000	109,033,552	89,689,000
1304	社会教育課	文化財保護管理事業	4,278,000	4,040,237	2,481,000
1304	社会教育課	歴史民俗資料施設整備事業	1,641,000	1,124,098	1,617,000
1304	社会教育課	市史編さん事業	3,576,000	3,188,877	5,250,000
1304	社会教育課	生涯学習推進事業	308,000	319,813	195,000
1304	社会教育課	市民大学講座事業	885,000	191,832	876,000
1305	スポーツ青少年課	青少年体験活動事業	160,000	0	160,000
1305	スポーツ青少年課	青少年育成活動支援事業	304,000	150,147	304,000
1305	スポーツ青少年課	小中学校施設開放事業	2,892,000	1,830,572	2,406,000
1305	スポーツ青少年課	スポーツ普及促進事業	2,725,000	622,215	2,920,000
1305	スポーツ青少年課	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	3,290,000	179,053	3,295,000
1305	スポーツ青少年課	ガス灯ロードレース大会事業	4,500,000	0	4,500,000
1305	スポーツ青少年課	体育施設管理運営事業	132,412,000	144,641,340	142,571,000
1307	図書館	図書館管理運営事業	30,583,000	25,829,899	8,812,000
1307	図書館	資料管理整備事業	84,049,000	102,696,828	85,572,000
1307	図書館	読書学習推進事業	1,587,000	1,030,913	697,000

【令和2年度実施状況シート記載について】抜粋

○視点効果（複数選択可）

下記の表のとおり、視点ごとの効果内容「a. b. c. d」のうち該当するものを各課により選択し評価しています。主な取り組みの記載にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による変更や工夫等を具体的に記入されています。

また、評価については、下記を参考とし、個別の事情に合わせ各所属で評価しています。

- ◎：十分に取り組むことができた（9割以上）又は、  
代替案等により実施した場合と同程度の効果が得られた
- ：概ね取り組むことができた（6～8割程度）又は、  
代替案等により概ね実施した場合と同程度の効果が得られた
- △：あまり取り組むことができなかった。（5割以下）又は、  
会議や審議会等にて協議したが、結果として事業を中止した
- ×：殆ど取り組むことができなかった又は、  
当初より中止が決定していたもしくは協議等なく中止を決定した

なお、視点効果については「四街道市生涯学習推進計画（第3次）」22～23頁の推進すべき方向性をまとめたものです。

1. 現役世代の生涯学習に対する配慮	
効果内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。 (インターネットの活用、ガイドブック等の配布、開催日時・場所の配慮等)</li> <li>b. 参加対象者に広く周知できた。</li> <li>c. 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。</li> <li>d. その他 ( )</li> </ul>
2. 高齢者の力を活かす	
効果内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。</li> <li>b. 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。</li> <li>c. 学んだ成果を発表できる場を提供できた。</li> <li>d. その他 ( )</li> </ul>
3. 持続可能な学習形態の推進	
効果内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 学習者同士の交流の場を提供できた。</li> <li>b. 学習成果を地域に還元できた。</li> <li>c. 地域に学習成果を活かす動機づけができた。</li> <li>d. その他 ( )</li> </ul>
4. 障害者の多様な学習活動の推進	
効果内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. ライフステージに合わせた学習を提供できた。</li> <li>b. 関係部署と連携し、参加者を募った。</li> <li>c. スポーツ・文化活動等、学習を支援する環境（人材）を整えた。</li> <li>d. その他 ( )</li> </ul>

## 5. 家庭教育支援体制の充実

効果  
内容

- a. 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。
- b. 家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。
- c. 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。
- d. その他（ ）

### ○方針

次年度の方針について、最も適当なものが選択されています。

(A：継続 B：拡大 C：縮小 D：その他)

なお、次年度の方針が「D：その他」の場合は「課題と次年度の方針」欄にその理由を具体的に記入されています。